

「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか？」に関する 各部会の主な意見

1 部会における共通事項

① タイトル

- ・タイトルがやや古い市民参加の表現であり、今はもっと主体的に市民が参加するケースもあるので、表現の工夫が必要ではないか。
- ・「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか？」というタイトル部分に、共助のニュアンスを加えられたら良い。
- ・市民に対して宿題を出したのではなく、パートナーで進めることが受け取れるように表現の工夫が必要である。

② 各項目の表現

- ・行政計画は市民の意見が反映しているように受け取れないので、このような柔らかい表現となっていて良い。
- ・内容にはより具体性を持たせ、伝わりやすくする必要がある。
- ・市民と行政がともにまちをつくることをもう少し具体的に表現できると、市ならではのものとなって良い。
- ・上からの押し付けではなく、こんな参加の仕方もあるというように、市民がやりたいと思える表現にしてほしい。
- ・市民に対して宿題を出したのではなく、パートナーで進めることが受け取れるように表現の工夫が必要である。(再掲)
- ・施策を利用する人の立場でできているという視点は重要である。例えば、自転車専用レーンを整備する場合、利用者に安全に使うための最低限のルールを守ってもらうような表現の工夫があっても良い。

③ その他

- ・「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか？」が各施策のどこに繋がるのかといった流れが分かるつくりになると良い。
- ・「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか？」を呼び掛けているのは、審議会あるいは議会なのか、主体を明確にした方が良い。

2 個々の記述に関する意見

【環境・アメニティの分野】(第1部会)

- ・グリーンな市場による経済の活性化を目指してほしい。そのため「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか？」の2番目は、「省エネ、リサイクル製品」ではなく、より広義を指すように「環境に配慮した製品」を購入する変更した方が良い。

【産業・経済の分野】（第1部会）

- ・「(仮称)皆さんも取り組んでみませんか？」では、職住近接のさいたまライフを楽しもうといったことを表せると良い。

【健康・福祉の分野】（第2部会）

- ・障害者一人ひとりの実情を踏まえた、特に職場などにおける周囲の理解と対応が必要であると感ずることがある。

【教育・文化・スポーツ】（第2部会）

- ・「公民館等の講座」ではなく「地域の講座」でよいのではないか。

【安全・生活基盤の分野】（第3部会）

- ・帰宅困難者対策についての手引きなど市民向けの配布物があるとすれば、それを知らないこともあるので、「読んでみませんか」という呼びかけはいかがか。
- ・災害時は企業や学校に留まることを、家庭でも確認してくださいと呼びかけてはいかがか。私立の学校でもこの方針を統一できると良い。
- ・お互いの譲り合いや声掛けが大切であることを入れてみてはいかがか。
- ・消費者トラブルは「(仮称)皆さんも取り組んでみませんか？」に気を付けるよう呼びかけがあると良い。